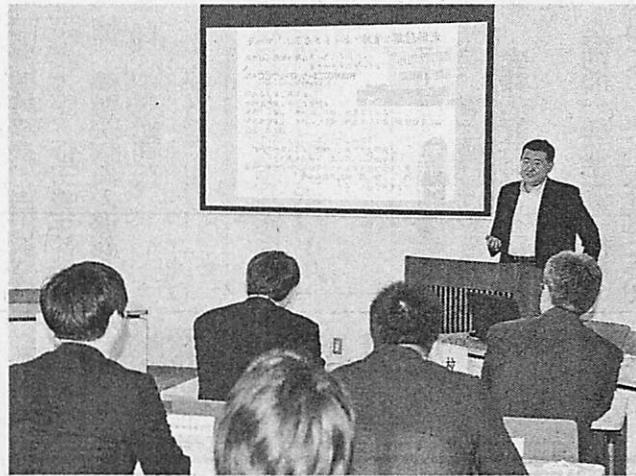


学校や進路に理解を

秋田職能短大 高校教諭に説明会

秋田職能能力開発短期大学校で23日、高校の進路担当教諭を対象にした学校説明会が開かれ、講話や施設見学を通して学校への理解を深めた。進路指導の参考にしてもらおうと毎年開催。県北を中心に県内11校から11人が参加した。前半は福原淳嗣市長と東光コンピュータ・サービスの藤盛公之社長が講話した。福原市長は「大館力」と題して函館・大館・角館の3D連携、環境リサイクル技術などを紹介し、「東北、そして秋田を元気にするために大館でできることをやらなければならぬ」と述べた。東光コンピュータ・サービスの藤盛社長は同校出身者の活躍を伝え、「企業が求める資質を備えている。会社の将来を担っている社員もいる。地元で貴重な人材を残し、育

て上げるために必要な学校」と話した。



その後短大の施設見学や人材育成の取り組みについて説明、意見交換も行った。

↑ 県内高校の教員らが出席した説明会(秋田職能短大)